

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ

コード番号 4840 URL <http://www.triis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 均

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小出 美紀

TEL 03-3221-0211

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	618	0.4	△67	—	△65	—	△74	—
25年12月期第1四半期	616	△28.2	△148	—	△137	—	△151	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △76百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △145百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△6.58	—
25年12月期第1四半期	△13.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
26年12月期第1四半期	7,372	—	6,395	—	85.8	560.32
25年12月期	7,596	—	6,583	—	85.8	577.04

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 6,326百万円 25年12月期 6,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	1,458	△46.6	27	△86.4	27	△90.3	1	△99.1	0.09
通期	3,646	△19.5	90	△0.2	90	△56.1	5	△92.4	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	12,600,000 株	25年12月期	12,600,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	1,309,560 株	25年12月期	1,308,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	11,290,802 株	25年12月期1Q	11,606,170 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の経済政策、いわゆる「アベノミクス」の効果、消費税増税前の駆け込み需要により、内需が堅調な伸びを示し、それを背景に景気回復が加速しました。一方、世界経済は、欧米先進諸国はゆるやかな回復基調を維持しているものの、景況感が悪化している中国をはじめとした新興国は総じて不調、世界経済は未だ予断を許さない状況にあります。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が減少しても黒字化できる体質づくりを続けており、直近の三事業年度にわたり順調に業績回復を実現することができました。当期につきましても引き続き、連結ベースでの営業利益・経常利益の黒字化は当然ながら、これらの増益及び最終損益の黒字化を目指しております。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高618百万円（前年同期比0.4%増）、販売費及び一般管理費は322百万円（前年同期比24.5%減）と更なる削減を実現しておりますが、営業損失は67百万円（前年同期は148百万円の営業損失）、経常損失は65百万円（前年同期は137百万円の経常損失）、税金等調整前四半期純損失は65百万円（前年同期は142百万円の税金等調整前四半期純損失）、四半期純損失は74百万円（前年同期は151百万円の四半期純損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業においては、東日本大震災復興関連の業務に加えて、震災被害を受けて全国的に防災・減災対策関連の業務の受注が増えました。さらに、政府の緊急経済対策で示された重点施策のうち、「復興・防災対策」では、河川管理施設等のインフラ修繕や長寿命化計画策定等に関連する業務の受注も増加傾向にあります。

一方で、従来型の大型公共事業である新規ダム建設などの受注は依然として厳しい状況にあり、従来型業務から維持管理を中心とした継続性の高い業務への転換を図ってまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は272百万円（前年同期比54.0%増）、営業損失は66百万円（前年同期は143百万円の営業損失）となりました。

(ファッションブランド事業)

当社グループのファッションブランド事業各社は徹底したコスト削減に取り組み、売上が縮小しても黒字化できる体質づくりを行っております。当社が管理するライセンスビジネスについては、CLATHASブランドで前年同期を上回るロイヤルティー収入を確保しました。今後もブランドイメージの向上、ブランド価値の拡大を進め、新規ライセンスの獲得を目指します。

東京ブラウス(株)、濱野皮革工藝(株)については、事業見直しによるリストラクチャリングを進め、不採算店舗の整理と更なるコスト削減に努めた結果、売上は前年同期比で減少しておりますが、僅少なながら営業利益となりました。両社とも(株)セレクトティブの運営によるオンラインショップでの販売を拡大し、収益性の高いビジネスモデルに変遷させていきます。

台湾の拓莉司国際有限公司については、不採算店舗を整理し、公式オンラインショップでの販売を軸に、CLATHAS、濱野両ブランドの知名度向上、収益拡大に努めます。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は345百万円（前年同期比21.3%減）、営業利益は45百万円（前年同期は11百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、7,372百万円となりました。これは主に、仕掛品が99百万円増加しましたが、現金及び預金が338百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少し、977百万円となりました。これは主に、前受金が157百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が73百万円、未払法人税等が69百万円、その他が67百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ188百万円減少し、6,395百万円となりました。主な減少要因は配当金の支払に伴う利益剰余金112百万円の減少と四半期純損失計上に伴う利益剰余金74百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年2月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,552	1,934,910
受取手形及び売掛金	241,535	329,619
有価証券	104,310	104,325
商品及び製品	344,877	320,584
仕掛品	573,115	672,409
原材料及び貯蔵品	60,687	65,207
繰延税金資産	40,820	43,700
その他	77,051	74,559
貸倒引当金	△1,368	△557
流動資産合計	3,714,581	3,544,760
固定資産		
有形固定資産		
土地	814,007	814,007
その他(純額)	261,667	256,729
有形固定資産合計	1,075,675	1,070,737
無形固定資産		
のれん	760,030	716,633
その他	57,610	56,306
無形固定資産合計	817,641	772,939
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787,700	1,787,700
その他	222,578	217,984
貸倒引当金	△21,548	△21,548
投資その他の資産合計	1,988,730	1,984,136
固定資産合計	3,882,046	3,827,813
資産合計	7,596,628	7,372,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,275	101,598
未払法人税等	83,238	14,205
前受金	435,754	593,629
賞与引当金	—	15,150
返品調整引当金	7,724	6,282
受注損失引当金	7,108	10,110
その他	237,363	169,946
流動負債合計	946,464	910,923
固定負債		
資産除去債務	24,111	24,157
その他	42,441	42,441
固定負債合計	66,552	66,599
負債合計	1,013,017	977,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	2,070,940	2,070,944
利益剰余金	△274,968	△462,117
自己株式	△291,115	△291,303
株主資本合計	6,504,856	6,317,523
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,595	8,784
その他の包括利益累計額合計	10,595	8,784
新株予約権	68,158	68,743
純資産合計	6,583,610	6,395,051
負債純資産合計	7,596,628	7,372,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	616,554	618,871
売上原価	337,868	363,380
売上総利益	278,686	255,490
販売費及び一般管理費	427,341	322,646
営業損失(△)	△148,655	△67,156
営業外収益		
受取利息	287	399
不動産賃貸収入	4,929	3,498
為替差益	7,892	—
その他	1,296	861
営業外収益合計	14,405	4,759
営業外費用		
支払利息	216	51
不動産賃貸原価	2,974	2,183
その他	531	430
営業外費用合計	3,722	2,665
経常損失(△)	△137,972	△65,061
特別損失		
減損損失	4,506	—
その他	—	51
特別損失合計	4,506	51
税金等調整前四半期純損失(△)	△142,479	△65,113
法人税等	8,596	9,123
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△151,076	△74,237
四半期純損失(△)	△151,076	△74,237

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△151,076	△74,237
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,385	△1,811
その他の包括利益合計	5,385	△1,811
四半期包括利益	△145,691	△76,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,691	△76,049
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	177,242	439,312	616,554	—	616,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	120	120	△120	—
計	177,242	439,432	616,674	△120	616,554
セグメント損失 (△)	△143,241	△11,196	△154,434	5,779	△148,655

- (注) 1. セグメント損失 (△) の調整額5,779千円には、セグメント間取引消去△18,777千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額24,556千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	272,971	345,899	618,871	—	618,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	272,971	345,899	618,871	—	618,871
セグメント損失 (△)	△66,395	457	△65,937	△1,218	△67,156

- (注) 1. セグメント損失 (△) の調整額△1,218千円には、セグメント間取引消去6,514円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△7,733千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。